

海辺の学校 浜っ子と海のふれあい会
「地曳網体験会」と「浜っ子夏まつり」

育成部会
7月6日(日)開催



鳥の海海水浴場において、子供たちに地元の海の魅力を知ってもらおうと、育成部会と実行委員が地曳網体験、その後には浜っ子夏まつりを実施しました。

荒浜小学校、中学校の児童生徒およびその保護者約150名が参加しました。地曳網体験会では、実行委員が船に乗り沖から網を砂浜まで渡し、みんなで掛け声を合わせて一斉に網を引っ張りました。子供たちは網に掛かった魚を観察したり実際に手でつかみ感触を確かめたりしながら楽しみました。

その後の浜っ子夏まつりでは、場所を近くのシーサイドベースに移動し、地元の商店会青年部や中学生の協力員の方たちが模擬店を開き、焼き鳥やフランクフルト、かき氷などを食べながら楽しく過ごしました。部会長の高橋彰さんは、「来年度も小中学生の地域交流事業として、更に大きく発展させていきたい」と強い思いを話しました。

11月・12月のイベントのお知らせ

カローリング大会

開催日 11月16日(日)
場所 荒浜体育館
費用 200円(傷害保険)(持ち物 運動靴・飲み物)
締切り 11月10日(月)
※終了後の豚汁とおにぎり付きです。
お申し込みは、直接または電話、右記のQRコードからできます。



フラワーアレンジメント教室

～お正月に飾るお花を一緒につくってみませんか～

開催日 12月26日(金)
場所 勤労青少年ホーム
費用 2,000円 (持ち物 花切りばさみ)
締切り 12月22日(月)



お申し込みは、直接または電話、右記のQRコードからできます。



荒浜地区まちづくり協議会 会報 第55号

荒浜が好き！
みんなで作る私たちの
ふるさと

発行日 令和7年11月1日(土)
編集 荒浜地区まちづくり協議会
発行責任者 武者 清一
住所 宮城県亶理郡亶理町荒浜字中野33
荒浜地区交流センター内
電話 0223-36-8189 FAX 0223-36-8190
HP: <https://www.wa-tukuri.jp>

<2025年わたりふるさと夏まつり>に参加
「光のメッセージ」を灯しました

8月15日(金)



亶理町鳥の海公園周辺において、亶理町観光協会が開催した「2025年わたりふるさと夏まつり」に荒浜地区まちづくり協議会も参加し、園内の鶴の丘付近にて、三部会役員が協力して作り上げた一夜限りの「光のメッセージ」を披露しました。

ペットボトルとろうそくを使用して作り上げたおよそ730個の手作りランタンを一つ一つ並べ、午後6時から点火を開始しました。

今年は町制施行70周年に合わせ「亶理70th」という文字を作りました。点灯中の雨もなく、時折心地よく吹く風の中で、ろうそくの炎もゆらゆらと揺れ、幻想的な風景を見ることができました。



荒浜復興祭

10月19日(日)開催 (安心部会)

たくさんのご支援とご協力をありがとうございました。



オープニングセレモニー
荒浜中学校の吹奏楽部の演奏の様子



荒浜中学校の吹奏楽部の演奏では、元気な音色を会場いっぱいに広げ来場者の視線を一瞬で釘づけにしました。管楽器と低音楽器が緻密に重なり合い、聞いている人の心に響き演奏が終わると大きな拍手に包まれました。



ウクレレサークル
「荒・モアナ」の演奏の様子



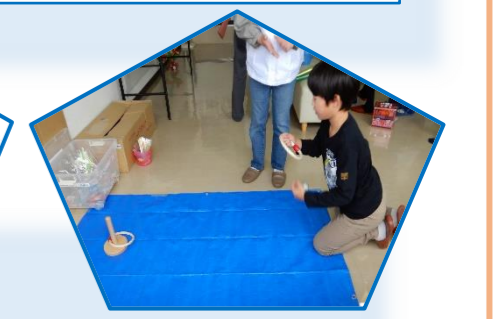
歌声を披露したカラオケ発表の皆さん



カラオケ発表会では、出場者たちが自慢の歌を披露しました。時折表情をくしゃっとさせたり、体を横にゆすりながら一生懸命に歌う姿に感動し胸がいっぱいになりました。



昔の遊びコーナーに立ち寄る子供たちの様子



豚汁、玉こんにゃくなど美味しい食べ物を手に、みんなにこやか

勤労青少年ホームにおいて荒浜復興祭を開催し、180名の方にお越しをいただき、近年にないほどの賑わいとなりました。

事前に部会員が何度も話し合いを重ね、どの年代の方にも楽しんでいただけるように意見を出し合いました。途中のやり取りの中では意見が交差することもありましたが、互いの意見を認めあうことと、他人事ではなく自分たちの事業として捉えてやっていくことを学ぶ貴重な機会となりました。

また部会員一同が同じ目標に向かって、気持ちを一つにして事業を進めることができ、大勢の方たちに楽しんでいただき、大変うれしく思います。これからも荒浜地区を盛り上げていけるように頑張ります。

安心部会部会長 佐藤 由香

